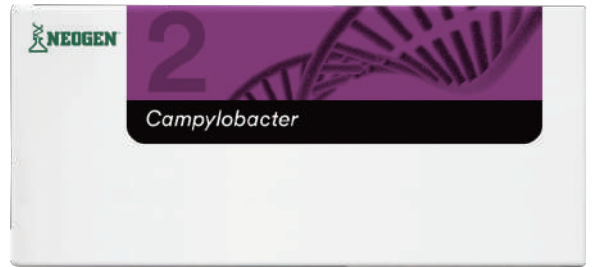


病原菌検出アッセイ2 カンピロバクター属菌用

独自の検出テクノロジーを用いながら、
よりシンプルな手順、より短い測定時間で
カンピロバクター属菌を検出できるようになりました。

従来法で必要であった微好気培養の準備や、馬無菌溶血液の
添加、有機溶媒によるサプリメントの添加プロセスが不要に。



特長 1 ライス液及び試薬の工夫により、陰性までの測定時間が 60分まで短縮され、迅速に試験を実施できます。

1 《増菌》



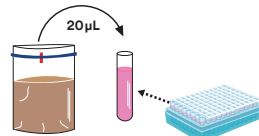
41.5°C 24~28時間
(生の食肉および食肉加工製品)
好気培養が可能です。馬血、サブ
リメントの添加はありません。

2



ライシチューブは使用する前に
室温に戻し転倒混和してください。

3



増菌培養後、ライシチューブに
20µL 移し替えます。

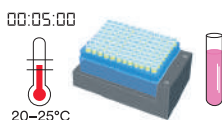
24~28時間

4



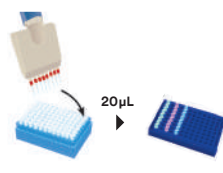
00:15:00
99~101°C
ライシチューブを100±1°C、
15分間加熱します。

5



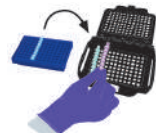
00:05:00
20~25°C
20~25°Cで
5~10分間冷却します。

6



上澄みを試薬チューブに20µL 移し替え、
ピペットで5回チューブ内の液を攪拌さ
せます。付属のキャップでシールします。

7



スピードローダートレイに
チューブを移し替えます。

8



00:60:00
スピードローダートレイを機器
にセットし、スタートさせます。

60分で陰性判定

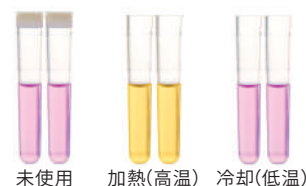
最短15分で陽性判定

2時間以内

特長 2

色変化による目視確認や、誤判定を防ぐテクノロジーで、 よりシンプルな操作を実現します。

- ライス液の加熱処理の状態が、試薬の色変化によって目視で確認
できます。(低温:ピンク色、高温:黄色)
- 独自のテクノロジーによりライス液の加熱時に試料中の夾雑物が
自然に取り除かれ、誤判定を防ぎます。



加熱、冷却時は
キャップ不要です。

病原菌検出アッセイ2 カンピロバクター属菌用

キット内容

- 1 試薬チューブ(32ウェル／袋×3)
- 2 ライシスチューブ
- 3 試薬チューブ用キャップ
- 4 陽性コントロール(8本／袋×2)

※陰性コントロールは含まれていません
 ※陰性コントロールとして、調製済みCE250を使用します



※製品パッケージは予告なく変更する場合があります

ご準備いただく培地

カンピロバクター属菌用前増菌培地

従来法で必要であった微好気培養の準備、馬無菌溶血液の添加、有機溶媒によるサプリメントの添加プロセスが不要に

- 培養時間: 24~28時間 (生の食肉および食肉加工製品)
 ※それ以外の食材、用途についてはお問い合わせ下さい
- 培養温度: 41.5±1.0℃



試薬 培地

製品番号	製品名	サイズ・容量	保存条件
MDA2CAM96	病原菌検出アッセイ2 カンピロバクター属菌用	96 ウェル／キット	2 ~ 8℃
MDMC96AP	マトリックス コントロール 病原菌自動検出システム用		
CE250	カンピロバクター属菌用前増菌培地	250g / 本	

NEOGENは、Neogen社の商標です。

ネオジェンジャパン株式会社

<https://www.neogen.jp/>

NEO-236-A(0624)e.

Please Recycle. Printed in Japan.
 © Neogen Corporation. All rights reserved.